

機関番号：32704

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20730357

研究課題名（和文） 財政再建をめぐる意思決定システムに関する社会学的視点からの比較研究

研究課題名（英文） Comparative Analysis by Sociological Perspective on Decision Making Process for Financial Reconstruction

研究代表者

湯浅 陽一（YUASA YOICHI）

関東学院大学・文学部・准教授

研究者番号：80382571

研究成果の概要（和文）：本研究では、地方自治体財政の再建に資する知見を得ることを目的に、旧産炭地で財政再建（再生）団体となった夕張市を中心に、青森県六ヶ所村、イギリスのノッティンガムなどで社会調査を実施した。その結果、炭鉱の閉山が自治体の財政破綻を引き起こすメカニズムを解明した。そしてイギリスの旧産炭地の自治体では財政破綻が生じていないことから、このメカニズムと我が国の地方財政制度のあり方が深く関係していることが明らかとなった。

研究成果の概要（英文）：For getting findings for financial reconstructing of local governments, we had done social research on Yubari, Rokkasho, Nottingham(UK). As a result, we have found a mechanism of local government's bankrupt caused from pit closure. We couldn't find a similar mechanism in UK that has same type former coalfields. Then, we can say that a bankruptcy of local Government in former coalfield is original under Japanese local government system.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2009年度	600,000	180,000	780,000
2010年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：社会学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：財政社会学、地方財政、財政再建、政策公共圏

1. 研究開始当初の背景

かつてわが国を代表する産炭地であった夕張市が2006年に財政破綻に陥るなど、研究を開始した当初は、地方自治体の財政が深刻な逼迫状況にあった。その一方、この問題の解決に資するべき財政学の視点からの研究は、財政制度内部の整合性の洗練に主たる関心を注ぐ傾向が強かった。しかしながら、自治体の財政状況を好転させるためには、地方財政制度と、これを取り巻く社会状況との

関連を分析することが必要であると判断された。このような分析を行う上では財政社会学の視点が有効であると思われたが、研究開始当時に至るまで、この分野での蓄積は十分ではなかった。そこで、社会学的な研究方法を駆使しながらデータを集め、財政社会学の理論の展開を図りつつ、地方自治体の財政再建を推し進めるための知見を得ようと、本研究を開始した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、地方自治体の財政再建と地域再生に関わる意思決定システムのあり方を、国内と海外の事例を体系的に比較考察することで検討し、財政社会学の基盤を形成しつつ、喫緊の社会問題である財政再建の解決に資する知見を得ることである。

財政社会学は、国内外を問わず、今日の社会学研究において取り上げられる機会は非常に少ない領域である。しかし、わが国での自治体財政のみならず、多くの国の国家財政や地方財政は逼迫した状況にある。こうした状況下での問題解決にとって、財政制度と社会構造とのかかわりを重視する財政社会学の研究が発展していくことは有効である。

また、わが国の地方自治体の財政は極めて追い詰められた状況にあり、早急に対処策を講じなければならない。本研究ではこの点を意識して、問題の解決に直接的に貢献しうるような知見を得ることを目的としている。

3. 研究の方法

本研究の方法は、聞き取りを中心とした社会学的手法にもとづくフィールドワークの実施を中心としている。具体的には、夕張市や福岡県の田川地域、青森県六ヶ所村、イギリスのノッティンガムなどの現地に赴き、当地の資料収集や関係者への聞き取り調査を行い、必要な情報を集めた。

分析にあたっては、以下の3つの視点からの比較研究を軸とした。

夕張市と田川地域の諸自治体は、同じ旧産炭地であり、炭鉱の閉鎖によって少なくない影響を受けた地域であるが、現在の経済状況などの点では相対的に田川地域の方が良好な状態にある。夕張市と田川地域を比較することを通して、どのような要因により、こうした違いが生み出されたのかを明らかにすることができる。

青森県六ヶ所村は国内有数の原子力関連施設の集中立地地域である。夕張市は石炭というエネルギー産業に特化した地域であったが、六ヶ所村は原子力というエネルギー産業に深く依存している地域である。異なったエネルギー産業に特化した地域を比較することで、お互いの特徴に対する理解を深めることができる。

ノッティンガム地域は、かつてはイギリスを代表する産炭地であった。夕張市をはじめとする旧産炭地自治体の多くが財政的に逼迫した状況に追い込まれている要因の1つとして、わが国の地方財政制度が持つ特徴が考えられる。この点は、イギリスのように、異なった地方財政制度を持つ海外の事例と比較し、その制度のもとで旧産炭地自治体の財政がいかなる展開をたどったのかを検討することで明らかにできる。

4. 研究成果

(1) 産炭地における炭鉱の閉鎖は、地元の経済のみならず、自治体財政にも大きな影響を与え、その結果として、夕張市などの自治体が財政再建（再生）団体に転落した。

炭鉱閉鎖が自治体財政に与える影響は、第一に、炭鉱企業からの税収が途絶える、雇用が失われ人口が流出して税収が減るなど、歳入の減少の側面において現れる。

第二に、炭鉱企業が運営していた病院の引き継ぎや、炭鉱作業員とその家族が利用していた諸施設の過大化と処理、人口減少によるバス運行の補助費など、歳出の面でも大きな負担を残すことになる。

このように炭鉱の閉鎖は、歳入と歳出の両面で大きな負担となる。両者は、人口の減少によりバス運行の補助費が必要になるが、十分に行き届かないことが多く、公共交通機関の不便さが顕著になるため、そのことによってさらなる人口の流出が生じるなど、相互に作用しながら、自治体財政への負担を加速度的に増加させていく。このようなメカニズムのもと、旧産炭地の自治体は財政破綻へと向かってしまうのである。

(2) 近年では夕張市の財政再建団体入りに大きな社会的関心が集まったが、夕張市の以前にも、福岡県の赤池町など4町が財政再建団体入りしている。この4町もまた、すべて旧産炭地である。

旧産炭地が財政破綻しやすい傾向にあることの原因は、上述した炭鉱閉鎖から財政破綻に至るメカニズムに求められよう。

しかし、赤池町など福岡県内の旧筑豊炭田の自治体と、夕張市など北海道内の自治体が置かれている状況を比較すると、大きな違いが存在していることに気がつく。福岡県内の自治体の方が、炭鉱閉鎖による影響からの回復が相対的に早いのである。

これは、当該地域における歴史や地場の経済力の強さの相違にもとづくと考えられる。赤池町に隣接する飯塚市などは、炭鉱が盛んになる以前の江戸時代から、宿場町として栄えた歴史を有している。こうした歴史を背景に筑豊炭田では、全国区の財閥系の炭鉱の他、麻生、貝島など地場の企業による有力炭鉱が存在した。こうした地場の企業は、炭鉱が閉鎖された後も地域に残り続ける。例えば麻生グループは、現在も飯塚市に拠点を置き、専門学校などを展開している。

また、旧筑豊炭田は、北九州市や福岡市などの大都市圏に近いため、炭鉱閉鎖後の人口流出も限定的であった。

これに対し北海道の多くの旧産炭地は、ほとんどの人の住んでいなかった土地に、炭鉱ができたという理由で人が集まった場所で

ある。そのため地場の企業はほとんどなく、炭鉱も財閥系の企業により占められていた。そのため炭鉱の閉鎖に伴い、ほとんどの企業が撤退してしまい、これに連動して、人口の減収も非常に著しいものとなった。

北海道内の旧産炭地でも、大都市である札幌に近接する岩見沢市は、相対的に経済状態が良好である。

また、国からの資金の流入量の差も、両地域の違いに大きな影響を与えている。国が石炭対策として支出したお金は、合理化対策、離職者対策、地域振興対策、鉱害対策の4つに分けることができる。このうち、金額面で最多は合理化対策であるが、支出先は地域社会ではなく炭鉱企業であった。地域に流入したお金の中で最多は鉱害対策である。しかし筑豊地域では多くの鉱害対策費が投入される一方、北海道に対しては全く支出されていない。

筑豊炭田では、人家の地下を採掘していたため、地上での地盤沈下という鉱害が生じ、その復旧のために多くの資金が投入された。このことは、地域に多くの建設分野での雇用を生み、炭鉱閉鎖後の雇用対策として一定の効果を持っていた。これに対し夕張市などの北海道の炭鉱では、山の地下を採掘したためこのような鉱害は生じず、そのため鉱害復旧を名目とした資金が入り込むこともなかった。その結果、閉山によって職を失った人々に対する雇用が生じることもなかった。この点の相違が、北海道におけるいっそうの人口流出を招いたと考えられる。

以上のように、日本国内でも福岡と北海道の旧産炭地の状況は大きく異なる。また、同じ北海道内でも、自治体によって事情が異なっている。こうした相違は、大都市との近接性などの地理的条件、あるいは炭鉱以前からの地場の経済力の蓄積、鉱害対策費として流入した国からの資金量の差などにもとづくものであると考えられる。

(3) イギリスは、かつては世界最大規模の石炭産出国であり、ノッティンガム地域は、同国内の代表的な産炭地域であった。現在ではこの地域でもほとんどの炭鉱が閉鎖されており、地域社会は大きな影響を被っている。

しかし、同地域では、わが国の夕張市で生じたような自治体の財政破綻という現象はみられない。この相違の大半は、わが国とイギリスの地方自治・財政制度の違いに求められる。

イギリスの地方財政は、わが国に比して規模が小さく、炭鉱の閉鎖が自治体財政に与える影響は限定的である。例えば夕張市などでは、炭鉱企業が抱えていた病院の継続や維持が大きな財政負担となる。しかしイギリスでは、国が全国に病院を設置し、国民は無料で

診察が受けられるという NHS (National Health Service) 制度の下、病院の維持は自治体の責務とはされていない。そのため、炭鉱企業が撤退しても、病院の経営という負担が自治体に課せられることはない。

これに対し、わが国の地方財政制度では、病院の経営が典型的に示しているように、炭鉱閉鎖の影響が直接的に自治体財政に押し掛かかってきてしまう。それゆえに財政破綻に至る自治体が出現するのである。

このような比較からは、地方自治体の財政破綻という現象は、単に炭鉱閉鎖による影響ということだけでなく、地方財政制度のあり方とも深く関連していることが理解できる。

(4) 夕張市の破綻を契機として、自治体財政の危機的状況に対する社会的関心が高まったことを受けて、約半世紀ぶりに自治体財政の再建に関する法律が改正された。「財政再建法」の成立である。

同法による新しい破綻法制の特徴は、自治体財政が悪化傾向にある場合に、これを早期に発見し、対策を取らせることにある。また、不透明とされてきた特別会計を、一般会計と連結させることによって、自治体財政の透明性を向上させることも狙いとされている。

こうした新しい破綻法制については、以下の点での課題があると考えられる。

第一にこの制度は、そもそも自治体の財政を逼迫した状況に追い込んでいく要因を取り除くものではない。この点では自治体の自己責任という視点が貫かれている。しかし、今日の状況に至った原因を自治体の自己責任に帰することは困難である。自治体財政を悪化させている要因を取り除く方策の実施が必要である。

第二に、病院会計の場合、一般会計との連結は、却って病院の維持を困難にする可能性が高い。病院は住民が安心して生活するためには不可欠の施設であるが、過疎化の進む地域で黒字経営を行うことは難しい。そのため、病院そのものの収支は赤字となり、それを一般会計で補てんすることにならざるを得ない。一般会計の健全性への監視が強まる一方で、病院会計が一般会計の重荷になっていることが明確な形で提示されれば、病院会計に対して何らかの処置を取ることが求められる。しかし、もともと劣悪な条件での経営であることを踏まえれば、効果的な改善策を講じることは難しく、存続か廃止かという選択を迫られることになる可能性が高いと考えられるのである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

①湯浅陽一、旧産探知財政の財政社会学的分析—長崎県高島と北海道石狩地域を中心に、
関東学院大学文学部紀要、査読有、第119号、
2010、99-129

②湯浅陽一、イギリスにおける地方行財政制度の概要と旧産炭地対策、関東学院大学文学部紀要、査読有、第120・121合併号、2010、
197-222

〔学会発表〕(計1件)

①湯浅陽一、「自治体の財政破綻と地域社会」、
第35回地域社会学会大会、2010年5月8日、
駿河台大学(埼玉県)、

〔その他〕

科学研究費報告書

湯浅陽一、2011、『財政再建をめぐる意思決定システムに関する社会学的視点からの比較研究』(課題番号20730357)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

湯浅 陽一 (YUASA YOICHI)
関東学院大学・文学部・准教授
研究者番号：80382571

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：